



あさお インフォメーション Information

保護者・地域の皆様へ
神奈川県立麻生養護学校
令和3年9月1日発行
担当：佐々木南 榎本

校長から

2学期が始まります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、夏季休業中も行動に制限があり、外出をしたり、友だちと遊んだりする時間を持つことができない、児童・生徒の皆さんや保護者の皆さんにとっては、「我慢の夏休み」だったのではないかと思います。

神奈川県に緊急事態宣言が発出されてからおよそ4週間が経過しましたが、感染爆発の状況は依然として続いています。感染者の増加が激しいため、必要な医療が提供できない、救えるはずの命が救えない、いわゆる「医療崩壊」への懸念も高まってきているのが現状です。

「医療崩壊」というのは、新型コロナウイルス感染症の治療だけではなく、その他の病気やけがの治療も十分に行えなくなる状態です。例えば、皆さんや皆さんの大切な人が交通事故で大けがを負っても、搬送先の病院が見つからず命を落としてしまうということが起きるかもしれないのです。自分にも降りかかってくる危機的な状況であることを私たちは理解しなければなりません。

学校の教育活動が再開されますが、私たちは、こうした状況が継続していることを十分に理解して、今まで以上に感染防止対策を徹底していきましょう。国立感染症研究所によると、変異株についても、個人の基本的な感染予防策としては、これまでと同様に、「三つの密」の回避、マスクの着用、手洗い等が有効であり、それが推奨されています。

放課後等も不要な外出を控えて、できる限りの感染防止対策を心がけましょう。

皆さんを守るために、学校としても、消毒の徹底をはじめ、感染防止対策を強化・徹底していきます。また、このような状況で、様々な不安や悩みが生じるのではないかと思います。そのような時には、小さなことでも構いません、担任の先生や近くの先生に声をかけてください。学校は皆さんの力になります。

学校が始まっても、自由にふるまうことができないのは、とてもつらいことだと思います。しかし、医療崩壊を防ぎ、緊急事態宣言をできるだけ早く終えるためには、新規感染者を今より減らしていくことしかありません。感染力が非常に強いと言われているデルタ株ですので、現在の感染爆発を抑えるために、そして、日常を取り戻すためにも、ぜひ、このような状況を理解して行動するよう、皆さんの御理解と御協力をお願いします。

(校長：片平弘美)



安全防災・資機材研修の様子

麻生養護学校では、毎年8月の夏休み期間を使い全教職員対象に、学校で保有している防災資機材の研修を行っています。

今年度は①簡易トイレ（凝固剤）の使用方法

②簡易担架の作成方法

③備蓄食料の確認

④可搬型ポータブル発電機の操作、自家発電装置の確認 を行いました。

麻生養護学校には児童・生徒一人あたり3日間分の食料、水を確保しており、発災の際に、児童・生徒が安心、安全に過ごせるよう準備をしています。

（安全防災係：中村・高橋）



児童・生徒たちの活動の様子

【A小】

低学年の児童は2グループに分かれて、それぞれ7月9日、14日に山内図書館へ校外学習に出かけました。1年生にとっては初めての校外学習、2年生にとっても初めての図書館利用でしたが、落ち着いて、本を選んだり、図書館の方のお話し会を楽しんだりすることができました。14日は訪問籍のお友達も参加して一緒にお話し会を楽しんだり、クラスのお友達と交流したりすることができました。（A小：松岡）

【A高】

A高等部2年生は、校外学習で麻生図書館に行きました。生徒たちは行ききのバスの中から、久しぶりの校外活動に期待感を膨らませていました。図書館では、それぞれの生徒が好きな本を一冊ずつ選び、教員と一緒に窓口や貸出機で貸出手続きを行いました。公共のマナーを守るなど、高校生らしく利用することができました。（A高2年：尾形）

-おうちでオリンピック特別コンテンツ-

子どもたちから
「選手たちに送るエール」



神奈川県教育委員会ホームページに掲載されています。麻生養護学校は「第2弾」です!!

（カリキュラム研究開発 G：榎本）